

京丹波町に「子どもだけのまち」がオープン ～「京都版ミニ・ミュンヘン in 京丹波」を10月3日に開催～

- 京都府では、子どもだけで仮設のまちをつくり運営する「京都版ミニ・ミュンヘン」を京丹波町で10月3日に開催します。
- 9月26日には本物の議場で「子ども町長選挙」を実施するほか、本番当日には「西脇知事と行き活きトーク」として知事がインタビューを行いますので、あわせて取材をお願いします。

1 「京都版ミニ・ミュンヘン in 京丹波」当日

(1) テーマ

「みんなが仲良く、夢がかなうまち」

(2) 日時

令和8年10月3日（土） 13時00分～16時00分

時間	内容
10:00 ～12:00	まちのオープン準備（取材可能）
13:00	【まちのオープン】
14:30 ～15:05	【西脇知事と行き活きトーク】 ・知事がまちを訪れ、子ども町長や子ども出展者等にインタビュー
15:10 ～15:30	【友好都市連携セレモニー】 ・「子どもだけのまち」と京都府との友好都市連携の宣言、記念撮影
16:00	【まちのクローズ】

(3) 場所

京丹波町役場 防災芝生広場（船井郡京丹波町蒲生蒲生野 487 番地 1）

(4) 内容

大学生等のサポートを受けながら、子どもたちがまちのあり方や仕事を決めます。開催当日は、来場した子どもたちと一緒に町民となり、仕事をして独自通貨を稼ぎます。稼いだ独自通貨を使って買い物を楽しむほか、税金も納めながら協力して自分たちでまちを運営します。

(5) 参加方法（参加料無料/事前申込み不要）

- ・当日、現地にて参加受付
- ・町民となり、仕事や買い物等をできるのは小中学生のみ。見学はどなたでも可

<同時開催：西脇知事と行き活きトーク>

【日時】令和8年10月3日（土）14時30分～15時05分

西脇知事と行き活きトーク

【内容】知事が「京都版ミニ・ミュンヘン in 京丹波」を訪れ、子ども町長や子ども出展者、運営に携わる若者や大人（大学生等）に対して、子どもたちが思う「理想のまち」や若者や大人が思う「子育てが楽しい社会」に関するインタビューを行います。

【その他】京都府広報番組（KBS 京都『あったか京都！』）の収録形式で実施します。

2 特別ワークショップ「子ども町長選挙」

(1) 日 時

令和8年9月26日(土) 13時00分～14時00分

(2) 場 所

京丹波町役場 2階議場(船井郡京丹波町蒲生蒲生野487番地1)

(3) 内 容

まちのリーダーとなる「子ども町長」を選ぶ選挙を実施します。京丹波町議会の本物の議場を使用して、子ども町長候補者が演説を行い、子どもたちの投票により子ども町長を決定します。

(4) 参 加 者

事前のワークショップに参加している子どもたちと高校生・大学生スタッフ等

3 取材について

- ・当日取材される方は、会場入口にある受付までお越しください。
- ・取材時は、自社腕章の着用をお願いします。

4 主 催 等

主催：京都府

協力：京丹波町



NPO 法人京丹波イノベーションラボ



<参考：これまでのワークショップ等開催状況>

- 第1回 8月8日(土) まちの仕組みや必要な仕事を考え、まちのテーマを決定
- 第2回 8月22日(土) お店や仕事の内容を決定
- 第3回 8月29日(土) 通貨の単位やデザインを決定
- 第4回 9月12日(土) まちの名前を決定

<参考：「京都版ミニ・ミュンヘン」の概要>

目的：子どもの自主性・自立性を育むとともに、若者が子どもたちをサポートすることで、子どもと若者の交流機会を増やし、「子育ては楽しいもの」というポジティブなイメージを広げる。

過去の開催実績：令和6年度：福知山市、八幡市 それぞれ約300名参加
令和7年度：京都市 約6,000名参加

京都府ホームページ「京都版ミニ・ミュンヘンの実施」

<https://www.pref.kyoto.jp/kikaku/kosodate/minimunich.html>



※今年度の京都版ミニ・ミュンヘンは、京丹波町のほか、次の2箇所でも実施予定

- ・令和8年10月17日(土) 10:00～15:30 @梅小路公園芝生広場(京都市)
- ・令和9年1月～2月頃 @木津川市内

【本報道発表に関するお問合せ】

(全般に関すること)

総合政策環境部 子育て社会推進監

米倉 TEL 075-414-4334

総合政策室 企画参事

藤原 TEL 075-414-4374

(行き活きトークに関すること)

広報課

参事

寺島 TEL 075-414-4054

主幹兼係長

村本 TEL 075-414-4071

まゆまゆ



京都版
ミニ・ミュンヘン
in 京丹波

1日限りの こどものまち はたらいて、かせいで、 あそぼう！

こどもたちが考えた、
1日限りのこどものまち。
まちの町民になって、
こどものまちを楽しもう！

場所 **京丹波町役場** (京都府船井郡京丹波町蒲生蒲生野487番地1)

日時 2026年 **10月3日(土)** **13:00~16:00**

※10:00~12:00は、まちのオープン準備の時間です。準備からご参加いただけます。

参加費 **無料** (事前申込不要 対象:小中学生) 【お問い合わせ】munich@nisshosha.co.jp (株式会社日商社)

詳細はこちら ▼



当日のまちの楽しみ方

仕事を探して、働いて、通貨でお店を楽しんで、
また別の仕事で働いて…こどものまちを楽しもう！

Step ① 受付で町民証ゲット



Step ② 仕事を探そう！



Step ③ 仕事をして、お給料チケットゲット



Step ④ 銀行でお給料チケットと通貨を交換

※お給料の一部が納税されます。



Step ⑤ 通貨を使ってお店を楽しもう



ミニ・ミュンヘンとは

ドイツのミュンヘン市において40年以上続く
7歳から15歳までの子どもだけで仮想のまちを運営する取り組み。

